

[2026年] ホタルウィークを土京川で開催!!



例年どおり梅雨真っ只中の6/27(土)から7/5(日)の9日間、土京川付近のホタル観賞路において、ホタルウィークを開催しました。

初日はダブル台風が接近する異例の事態の日でしたが、風が強いものの雨は降らずに一安心。

土京川の観賞路周辺には街灯などの灯りが全く無いので、光りに邪魔されずホタル観賞が楽しめます。

期間中の観賞者数は1182名でホタルの出現数は885匹でした、ホタルの出現数はここ数年大きな変化は無いとのことで、沢山のホタルを観賞することができました。来場された多くの方々からは、ホタルを初めて見た、感動した、とても綺麗だった、などの声を掛けていただきました。



準備と開催に際し、観賞場所や草刈の許可と駐車場をお貸しいただいた企業、団体、個人さま、コミわか各部会や関係団体の皆さまのおかげで無事開催することができましたことに、お礼を申し上げます。

これからも変わることなく沢山のホタルが観賞出来るように、そして若槻全体のホタルの里化に向けて、ホタルの保護活動と環境保全の啓発に関わってまいります。

(自然環境部会/ほたるサポーターズクラブ/ホタルウィーク実行委員会)



第76回 明るく幸せな社会を築く 若槻地区住民集会開催

7月11日(土)午前10時から若槻コミュニティセンター体育館で、「第76回 明るく幸せな社会を築く 若槻地区住民集会」が開催されました。

開会行事の後、最初に「社会を明るくする運動」について、高市早苗内閣総理大臣の「社会を明るくする運動」メッセージが読み上げられ、八木和久若槻地区保護司代表から社会を明るくする運動の歴史や趣旨の説明があり、犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラの大切さを提唱されました。

続いて、若槻小学校の小山俊樹校長先生から児童の日々の様子がスクリーンで紹介され、「私の時間」というテーマの中で各自が好きなことを伸び伸びと活動する様子が映し出され、若槻小学校が一人一人の個性を尊重する教育を実践されていることを報告いただきました。



後半の講演会では、長野保護観察所本間美佳子所長より「明るい社会の実現」と題して、更生保護について基本に立ち返り、分かりやすくお話いただきました。7月は社会を明るくする運動の強化月間であり、全国的に行われています。高倉健主演の映画「幸せの黄色いハンカチ」からヒントを得た「幸せの黄色い羽根」は社会を明るくする運動のシンボルであり、マスコットの更生ペンギンのホゴちゃん・サラちゃんは(飛べない=飛行【非行】しないペンギンとして)犯罪や非行のない幸福で明るい社会を応援しています。この講演を機会に子供から大人まで一人でも多くの若槻地区の皆さんが、更生保護(犯罪や非行をした人の立ち直りを社会の中で見守り、地域の中で支えていく)の運動を知っていただき、多くの皆さんに伝えていただきたいと思います。

最後に、人権擁護委員の青木一男さんから「私たちは、1人ひとりの人権を尊重し、優しさと笑顔にあふれ、いじめや差別のない、真に平等なまちづくりを進めていきます。」という「若槻地区人権尊重アピール宣言」を朗読いただき、集会が終了しました。

(人権教育部会)

社会を明るくする運動

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ